

教科書「TEACHER'S MANUAL 付属データ」 おすすめの活用例：こんなときは？

数研出版 編集部

数研出版の TEACHER'S MANUAL とその付属データはたいへんご好評いただいております。多くの学校で、ご授業や生徒の皆様の学習にお役立ていただいております。今号では「TEACHER'S MANUAL 付属データ」について、その活用例を交えて、改めてご紹介いたします。

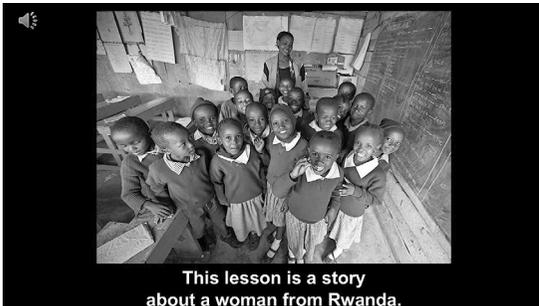
英語コミュニケーション

1. 生徒の興味・関心をひきたいときは

⇒教材導入用スライド

PowerPoint 形式の教材導入用スライド(写真+音声+字幕の電子紙芝居)で、各レッスンの導入をします。生徒の学習意欲を高めるのに役立ちます。

スライドを編集・加工していただくことで、難易度の調節が可能です。字幕を削除することで、より難度の高い導入素材となります。また、スクリプトの和訳も別途ご用意していますので、各スライドにスクリプトの和訳を入れていただくことで、日本語字幕を見ながら音声を聞かせることも可能です。



▲教材導入用スライド(BLUE MARBLE I)

2. 授業をスムーズに進めたいときは

⇒授業プレゼンテーション用スライド

教科書紙面の内容を、PowerPoint 形式のスライドデータでご用意しています。

各レッスンの英文には通常読みとフレーズ読みの音声を搭載し、またリスニング問題にも音声を搭載しています。音声ボタンをクリックすれば、音声がかかります。各設問では、解答やスクリプトを表示することも可能です。

Lesson 04 1-1

Look at Picture A. Some people are in a box. The box goes up and down. What does it mean? Yes, it is an elevator!

Lesson 04 1-1

図Aを見てください。箱の中に何人かの人があります。その箱は上下に動きます。これは何を意味するでしょうか。そうです、エレベーターです！

Lesson 04 Hints for Understanding

～すること/する(ための)/するために(不規則)

①「～すること」: 名詞のような働きをする。
I plan to visit Spain.
(私はスペインに行くつもりだ【←スペインに行くことを計画する】。)

②「～する(ための)／～するべき」名詞を後ろから説明。形容詞のような働きをする。
Spain has many places to visit.
(スペインには訪れるべき場所がたくさんある。)

Lesson 04 Get More Information

1. Ryotaの出席
You can see this pictogram in many kinds of (1. buildings).
In it, a person is (2. running) through a door.
What does it mean?

2. Aoiとのやりとり
Umm... I got it!
It (3. means) emergency exit.
emergency 非常時

Yes, that's (4. right).

▲授業プレゼンテーション用スライド
(COMET I)

3. 語彙の確認をしたいときは

⇒①新出語リスト

新出語とその品詞・和訳を一覧にしています。これらを虫食い形式に編集して配付していただくことで、予習や復習課題としてご使用いただけます。

※ BLUE MARBLE I, BIG DIPPER I では、発音記号と英英定義も収録しております。

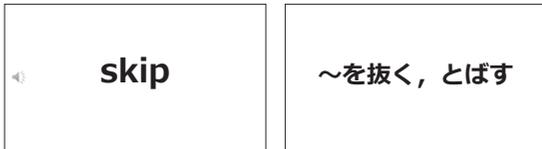
Lesson 1			
	English	Pronunciation	Japanese
Part 1	skip	skip	〔動〕～を抜く、とばす
	meal	mīl	〔名〕食事
	calculate	kāhikajōrit	〔動〕計算する
	correctly	karēktli	〔副〕正しく、正確に

▲新出語リスト (BIG DIPPER I)

⇒②新語フラッシュカードスライド

また、新語フラッシュカードスライドでは、音声付きのフラッシュカードで、生徒が顔を上げて楽しみながら新語の意味確認を行うことができます。その際に、各スライドを「英→日」から「日→英」に入れ替えたり、あるいは、単語の順序を並べ替えたりすることでランダムな確認も可能になります。

英 → 日



日 → 英



▲新語フラッシュカードスライド (BIG DIPPER I)

1～3の PowerPoint 形式のスライドデータは、いずれも Google スライド形式でもご用意しており、こちらも編集・加工していただけます。

4. 自宅学習(予習・復習)を促したいときは

⇒教科書解説動画

教科書解説動画をご用意しております。チャート×ラボより、QRコード・URLが記載された資料をダウンロードの上、生徒に配付していただくことで、動画の視聴が可能です。

動画視聴を予習課題としていただくことで、反転授業が可能になり、より多くの時間を題材理解やコミュニケーション活動に割いていただけます。また、授業後の復習や、定期考査前の振り返りとしてもご利用いただけます。

英文構造 | 新語 | 文法・表現 | その他 | Key Language

Louise was really amazed / when she saw an elderly woman / reading a newspaper.

ルイズは年配の女性が新聞を読んでいるのを見て、とても驚嘆した。

🔍 see+O+doing 「Oが～しているのを見る」
 ☆知覚動詞 (見る, 聞くなど) +O+doing (現在分詞)
 「Oが～しているのを…する」
 代表的な知覚動詞: see / watch / hear / feel など
 ※この構文はSVOCの形になっている。
 Ex. Louise saw an elderly woman reading a newspaper.
 S V O C

©教研出版

▲教科書解説動画 (BLUE MARBLE I)

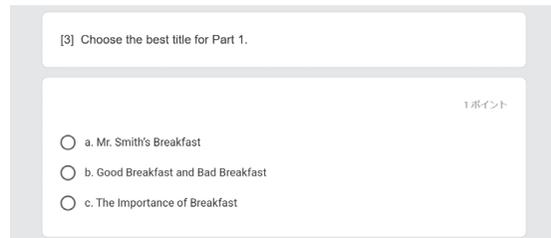
5. 内容理解を確認したいときは

⇒ Google フォーム / Microsoft Forms (小テスト)

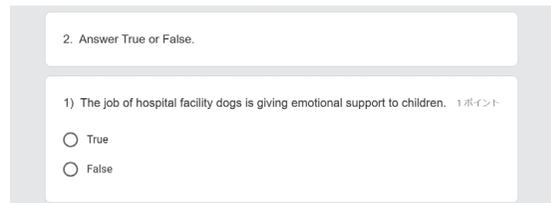
Google フォーム / Microsoft Forms 形式で、パートごとの小テストをご用意しております。朝学習の時間、また授業の冒頭やすきま時間などに、短時間で、手軽に生徒の理解度を確認できます。問題自体を編集して作り替えていただくこともできます。

4の教科書解説動画とともにフォームを配信することで、予習・復習課題として、動画視聴による自学と、フォームによる内容理解の確認が可能です。

また、生徒の解答結果を集計し、正解率などを算出することもできます。



▲タイトル選択問題 (BIG DIPPER I)



▲TF 問題 (COMET I)

今回はスライドデータや、オンラインでの学習素材を中心に紹介させていただきましたが、ほかにも授業でお役立っていただけるデータを多数ご用意しております。

論理・表現

1. 授業をスムーズに進めたいときは

⇒プレゼンテーション用スライド

論理・表現でも、教科書に掲載した内容を授業で演示するためのスライドデータをご用意しています。PowerPoint 形式のデータに加え、Google スライド形式でもご利用いただけます。適宜加工・修正して、授業に合わせてお使いいただくことができます。

Let's speak about...

Meg and Ken are talking about last weekend.

Meg: What are you doing?

Ken: I'm looking at some photos on my smartphone. I went to Ryo's hometown in Gunma last weekend, and we caught some fish in the river.

Meg: Great! How many did you catch?

Ken: Quite a few. Take a look at the photos.

Meg: Oh, those are really nice. I like taking photos, too. I took some photos of my cat last weekend and uploaded them to my social media page. Here, take a look.

Ken: Oh, those are really cute! What else did you do over the weekend?

Meg: Not much, but I went for a jog on Saturday evening.

▲プレゼンテーション用スライド
(EARTHRISE I Advanced)

Lesson 9

B.E. 12 「～だったにちがいない」
「～すべきだったのに」など

③ Tom may have arrived there early.
トムはそこに早く着いたのかもしれない。

④ He must have enjoyed the exhibition.
彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。

⑤ We should have visited it last week.
私たちは先週そこを訪れるべきだった。

▲プレゼンテーション用スライド
(BIG DIPPER I)

スライドには、各レッスンのモデル文や例文、和訳などが掲載されているため、このスライドデータを活用すれば、板書の時間を大幅に短縮でき、また授業準備の負担の軽減にもつながります。

このプレゼンテーション用スライドからは本文の音声再生が可能であるため、スライドのみで授業を効果的に行うことができます。発音・音声に焦点を当てたご指導も、内容(トピックや文法)に焦点を当てたご指導も、スムーズに進めていただけます。

また、問題の解答例などはアニメーション機能で提示することができるため、生徒の注意を引きつけながら、理解を促すことができます。生徒の視線を常に前方のスライドに向けさせることで、よりインタラクティブな授業を実現できます。

2. 文法の理解を深めさせたいときは

⇒①文法テスト(Word 形式)

文法はコミュニケーションの基礎となるため、知識を定着させることが重要です。しかし、限られた授業時間の中で文法指導を十分に行うのは難しいと感じている先生方もいらっしゃるかもしれません。そこで、付属データには、文法の確認・演習を目的とした、レッスンごとの小テストを収録しております。反復練習・応用問題を収録しているため、学習の進度に応じてご活用いただけます。

⇒② Google フォーム/Microsoft Forms テスト

また、オンラインで管理・実施が可能な Google フォーム/Microsoft Forms でも、文法のテストをご利用いただくことができます。

日本語の意味に合うように、()に入れるのに最も適切なものを選びなさい。

私たちの学校は8時半に始まります。
Our school day () at 8:30. 1ポイント

opens
 begins
 is starting
 is going

その通りの角に昔はパン屋があった。
There () a bakery at the corner of the street. 1ポイント

is
 are
 was
 were

▲ Google フォーム形式の文法テスト
(EARTHRISE I Advanced)

教師は生徒の端末にテストを配信し、解答を収集することが可能です。さらに、配信したテストの答えは自動採点され、採点結果を一覧表示することができるため、生徒の学習状況を把握しやすく、個々の生徒の理解度に応じた指導が行えます。

そのほかにも、文法の補強に役立つデータとして、重要な文法事項の暗唱例文集や準拠ワークブック類の本文・解答データ、準拠する文法参考書との対応表なども収録しています。参考書と教科書を併用することで、コミュニケーションに役立つ文法の理解を深めることができます。

3. 授業でワークシートを使用したいときは

⇒①提出シート

提出シートは、教科書の問題の解答を記入して提出するためのシートです。生徒が解答を直接書き込めるシートと模範解答が記入されているシートの2種類をご用意しています。これにより、生徒が自学自習をする際の答え合わせがスムーズに行えます。また、授業中に解答例を配付し、解説を加えながら生徒の理解を深めることにも役立ちます。

⇒②表現活動シート

「論理・表現」の授業では、「話すこと」「書くこと」に重点を置いたさまざまな活動を行います。これらの活動をサポートするために、ヒント付きの表現活動シートも収録しています。

Lesson 9 Visiting a Museum [Express yourself! 活用シート] (pp.32-33)

*① 次の話題について表現し、②対話してみよう。

▶ Tell what happened and give your conclusion.

① Ex.) John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.

I had a very bad score on the exam. I *should have studied* harder.

② Ex.) A: John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.

B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop.

*対話を続け、発表してみよう。

Hint 過去に関する推量 (must/may+have+過去分詞) や後悔 (should+have+過去分詞) の表現を用いて、「何が起きたか」を話し、結論を言ってみよう。

(「過去に関する推量」の用例)

家に帰ったかもしれない *may have gone home*
 夜の間に雨が降ったにちがいない *must have rained during the night*

(「過去に関する後悔」の用例)

もっと早く寝ておくべきだった
should have gone to bed earlier

⇒ その他 Words & Phrases p.92 「1日の行動」「学校生活」を参照。

Class _____ No. _____ Name _____

▲表現活動シート(BIG DIPPER I)

授業でペアワークなどをする際に、このワークシートを活用すれば、生徒同士のやり取りがスムーズに進み、授業での活動時間を有効に活用できます。このシートには、表現活動を行う際に必要となる語句やフレーズのヒントなどをつけています。ヒントの有無は、生徒の理解度や学習状況に応じて調整してお使いいただけます。

なお、改訂版では、教科書の言語活動の応用として、各レッスンに準拠した「パフォーマンステスト」の例(「話す〔やり取り・発表〕・書く」の3領域のテスト)もご用意します。生徒が主体的に話したり書いたりする機会を数多く設けることで、思考力、判断力、表現力の向上を図ることができます。

4. 生徒の活動を評価したいときは

⇒①ルーブリック評価表

「話すこと」「書くこと」を評価するには、明確な評価基準を設定することが不可欠です。そのために、各課にルーブリック評価表を設けました。このルーブリックを活用することで、客観的で一貫した評価を行うことができます。そして、評価結果を分析し、そのデータを指導に活かすことで、生徒一人ひとりに適した学習支援が可能になります。EARTH-RISE シリーズでは、ルーブリック評価表の英語版もご用意しており、ALT とのティーム・ティーチングの際にも役立てることができます。

⇒②観点別評価基準例

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に基づく評価を記入・集計することができる観点別評価基準例と集計シートも収録しております。これによって、学習の成果を多角的に分析し、より効果的な指導計画を立てることが可能になります。

これらを含むさまざまなデータで、文法指導とコミュニケーション活動をバランスよく組み合わせた授業づくりをサポートいたします。

数研出版の教科別メールマガジン

SUKEN Newsletter 配信中!

新刊案内・入試分析・コラムなど、バラエティ豊かな情報を月2回程度お届けします。



数研メルマガ



で検索!

